

競技注意事項

1. 競技規則について

本大会は2025年度公益財団法人日本陸上競技連盟競技規則及び本大会申し合わせ事項によって実施する。

2. 練習場及び練習について

(1) 練習は、下記のように本競技場を使用してよい。 ※詳しくは公開練習要項をご確認下さい。

7月4日 12時00分～17時00分

トラック 1～2レーン:中長距離

3～6レーン:短距離

7～8レーン:80mH

フィールド 走幅跳、三段跳:スタンド側ピット

走幅跳・三段跳び:12:00～17:00 * 時間により男女の区切り有

やり投げ・ジャベリックボール:12:00～17:00(競技場内) * 時間によりやり投げとジャベリックボール

7月5日 7時00分～8時00分

(2) 投てきの練習は事故防止上、必ず監督・顧問・コーチが立ち会いのもとで練習すること。

(3) 本競技場芝生内でのアップは禁止します。

(4) 競技場内における公開練習中のイヤホン等による音楽の使用は禁止とする。

3. 競技者の招集について

(1) 招集所は正面出入口付近に設ける。

(2) 各種目の招集開始時刻・完了時刻は、すべてその競技開始時刻を基準とし、下記の要領で行う。

種目	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック競技(予選)	30分前	20分前
トラック競技(決勝)	25分前	15分前
フィールド競技	40分前	30分前

(3) 競技者は、招集完了時刻までに集合しアスリートビブスの確認を受け、競技者係の誘導により競技場に入ること。

(4) 他の種目に出場しているなどの特別の事情がある場合に限り、代理人による点呼を認める。この場合必ず競技者係主任に申し出ること。

(5) 招集場所での不在や招集完了時刻に遅れた競技者は、当該種目を棄権したもものとして処理するので注意すること。

(6) 当該競技を棄権する場合は、必ず棄権届を競技者係に提出すること。(招集開始時刻前までに提出すること)

(7) 種目が被る競技者は多種目同時届を競技者係に提出すること。

4. アスリートビブスについて

(1) 全ての競技者はユニホームの胸、背に主催者が交付したものを使用し、確実に付けること。跳躍競技に出場する競技者は、胸又は背のどちらかに付けるだけで良い。

(2) トラック競技出場者は、写真判定用の腰ナンバーカード(点呼の際、競技者係より配布)を右腰やや後方に付けること。フィニッシュ後に自分で外し、係の者に返却すること。

(3) 3000m以上は、黄色のレーンナンバーカードを胸・背中・腰に使用する。(招集時に配布)

5. レーン順、競技順及びA、B決勝について

(1) トラック競技予選レーン順、フィールド競技試技順はプログラム記載の順による。

(2) 決勝の組み合わせ及びレーン順は番組編成係で抽選をし、その結果を招集所に提示する。

(3) 短距離競走のフィニッシュ後は、競技者の安全のため自分に割り当てられたレーン(曲走路)に沿って走り終えること。

(4) 予選以降のトラック競技の走路順、フィールド競技の試技順は番組編成で公平に抽選し決定する。

トラック競技において、プラス進出者を決める場合、同タイム者についてレーンに余裕がない場合は写真判定を拡大し、細部(電気時計1/1000)まで読み取り着差を判定する。判定が不可能の場合は本人または代理人によって抽選をし次進出者を決める。

6. 競技について

(1) TR16.8により不正スタートをした競技者は1回で失格とする。

また、競技規則TR16.5.1～3を行った場合、審判長がイエローカードを示し警告を与える場合がある。

警告及び失格についてはTR7を適用する。

(2) TR5.13.3に違反するシューズでの出場は認めない。

(3) タイムレース決勝については、申し込み記録により上位・下位に分けて組み分けをする。

(4) 助力については、競技場内での助力は禁止とするが、コーチングエリアやスタンドからの助言については競技運営や他の競技者の競技の妨げにならない範囲で認める。コーチングエリアにおける映像機器の取り扱いについてはTR6.4.5を順守すること。

7. 抗議について

競技進行中に起きた競技者の行為、または順位、記録についての抗議は、その競技者またはチームの代表者が結果が発表されて30分以内に総務員、審判長に直接伝達する。総務員、審判長は速やかに裁定を行う。

8. 競技規程および方法について

2025年度日本陸上競技連盟競技規則によるものの他は、次の通りとする。

9. 競技場への入退場について

(1) 競技場の入退場は全て、競技役員の誘導により行う。競技者以外は、競技場に立ち入ることはできない。

(2) 競技終了後におけるトラック競技者は、スタンド横の通路より退場し、メインスタンド前は通らない。

(3) フィールド競技における競技者は、当該審判員、マーシャルの指示に従い退場する。

10. 競技用器具について

(1) 競技に使用する用器具は、主催者が用意したものを使用する。

やはり個人所有のものを認める。但し、用器具庫で事前に検査を受けること。

(2) フィールド競技で、助走に使用するマーカーは、主催者が用意する。使用し終わったら、競技者自身で取り外し、所定の場所に返納する。

11. レースウェアについて

リレー競技においてはチームのウェアは統一する必要があるが、本競技会の特性上統一でなくても可とする。

12. 競技用スパイクシューズについて

競技場は、全天候型であり、スパイクピンの数は11本以内で長さは9mm以内、やり投では12mm以内とする。

13. 表彰について

表彰は各競技3位までとし、当該競技終了後、係の指示に従い表彰待機所で待機すること。

14. テントの設営場所について

テントを張る場所は、次に従い、各自責任を持って取り扱うこと。

・大会前日は設置できない。大会当日の開門(6時45分)より認める。

・大会期間中は、設置したままにで良いが、各校・各自の管理責任とする。主催者では一切の責任は負わない。

また、競技場外の設置は禁止とする。

・メインスタンドへの設置はしないこと。

15. 応急処置について

医務室に医務員を配置し、応急処置のみ行う。

16. ごみ処理の協力について

ごみは、各チーム・個人で全て持ち帰ること。

17. その他

貴重品の管理は、各自またはチームごとで責任を持って行うこと。